

3. 延宿泊者数について

■ データ出典 観光庁宿泊旅行統計

■ 調査対象

統計法第 27 条に規定する事業所母集団データベース（総務省）を基に、標本理論に基づき抽出されたホテル、旅館、簡易宿所、会社・団体の宿泊所などで、従業者数に応じて以下のとおり。

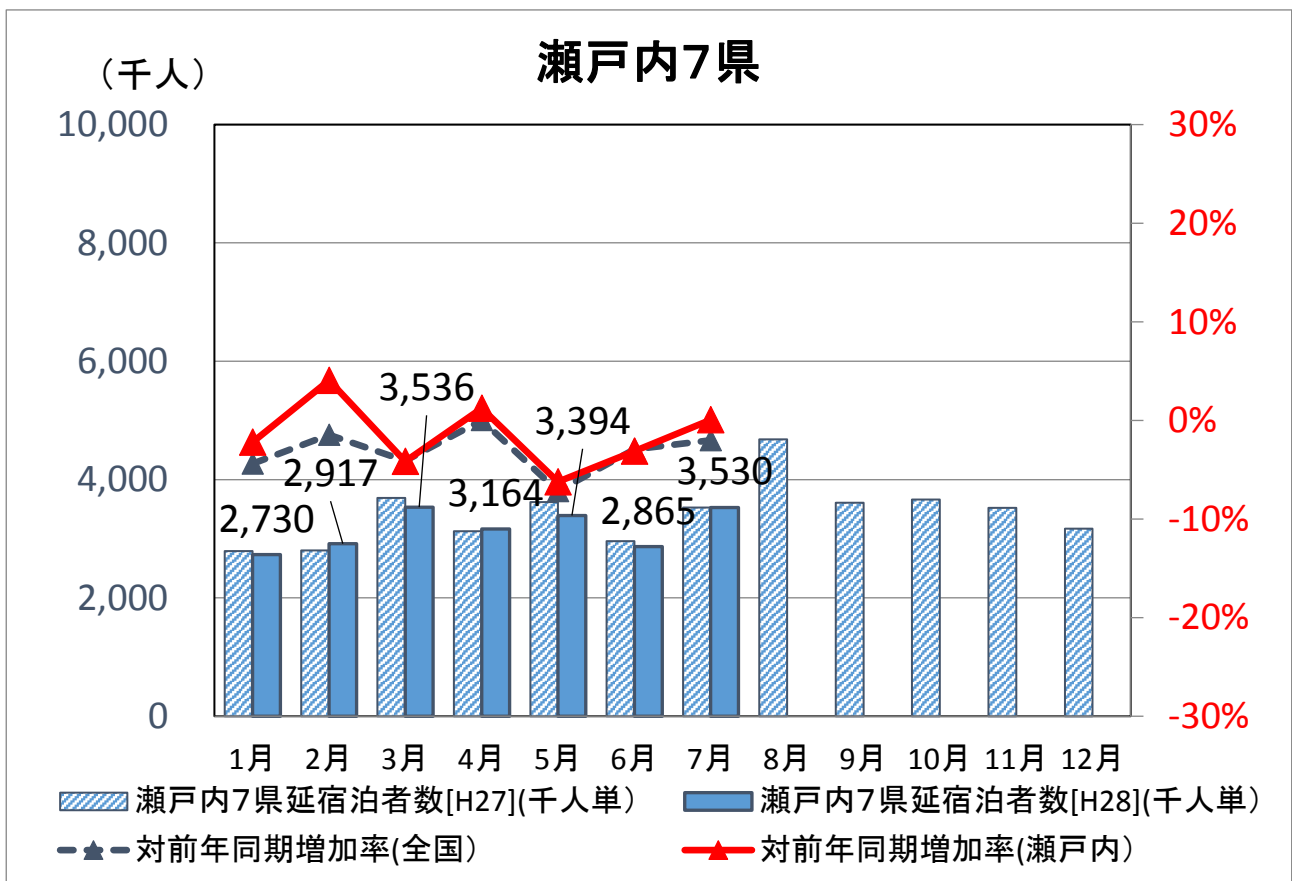
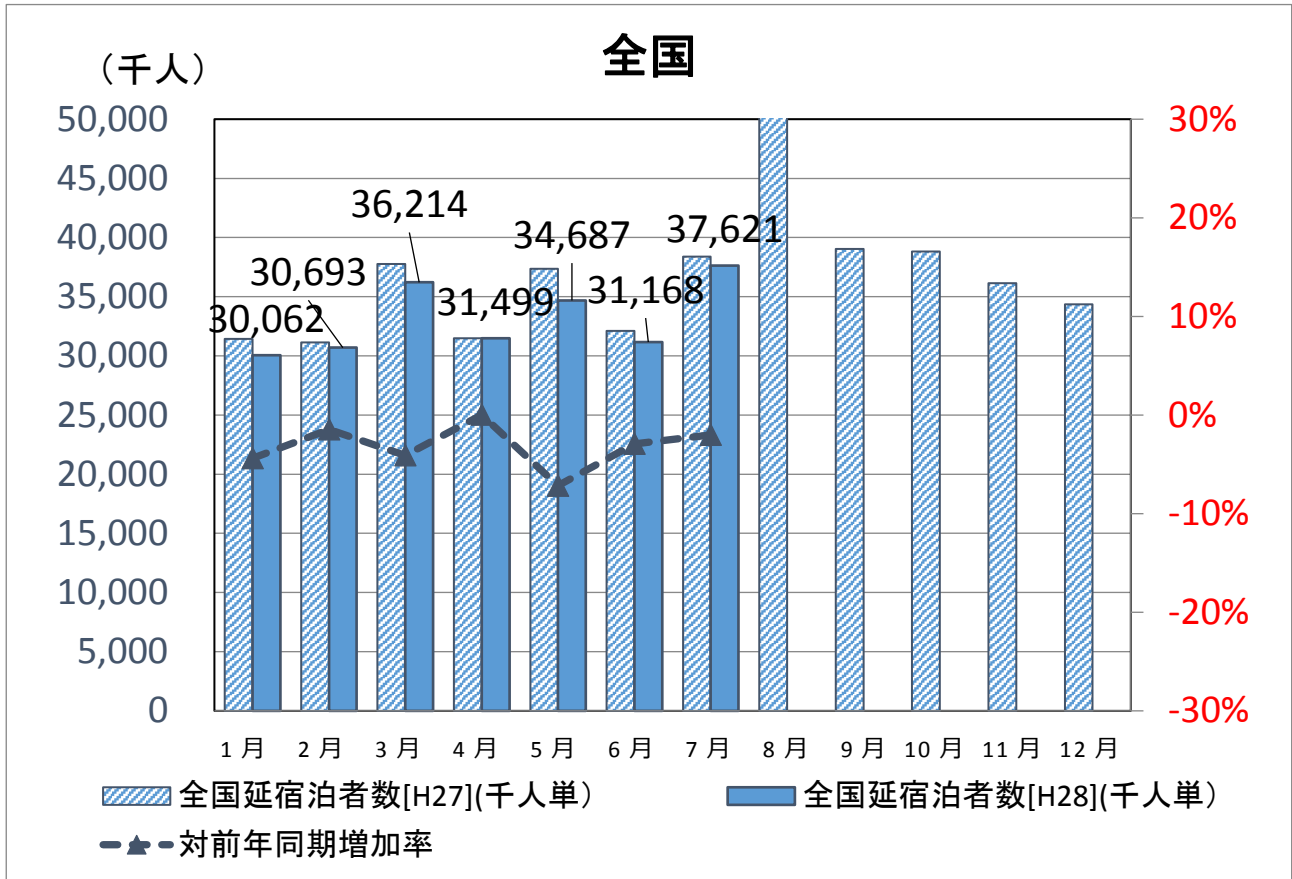
- ・ 従業者数 10 人以上の事業所：全数調査
- ・ 従業者数 5 人～9 人の事業所：1/3 を無作為に抽出してサンプル調査
- ・ 従業者数 0 人～4 人の事業所：1/9 を無作為に抽出してサンプル調査

■ 国内延宿泊者数については、全体と外国人延宿泊者数の差により算出

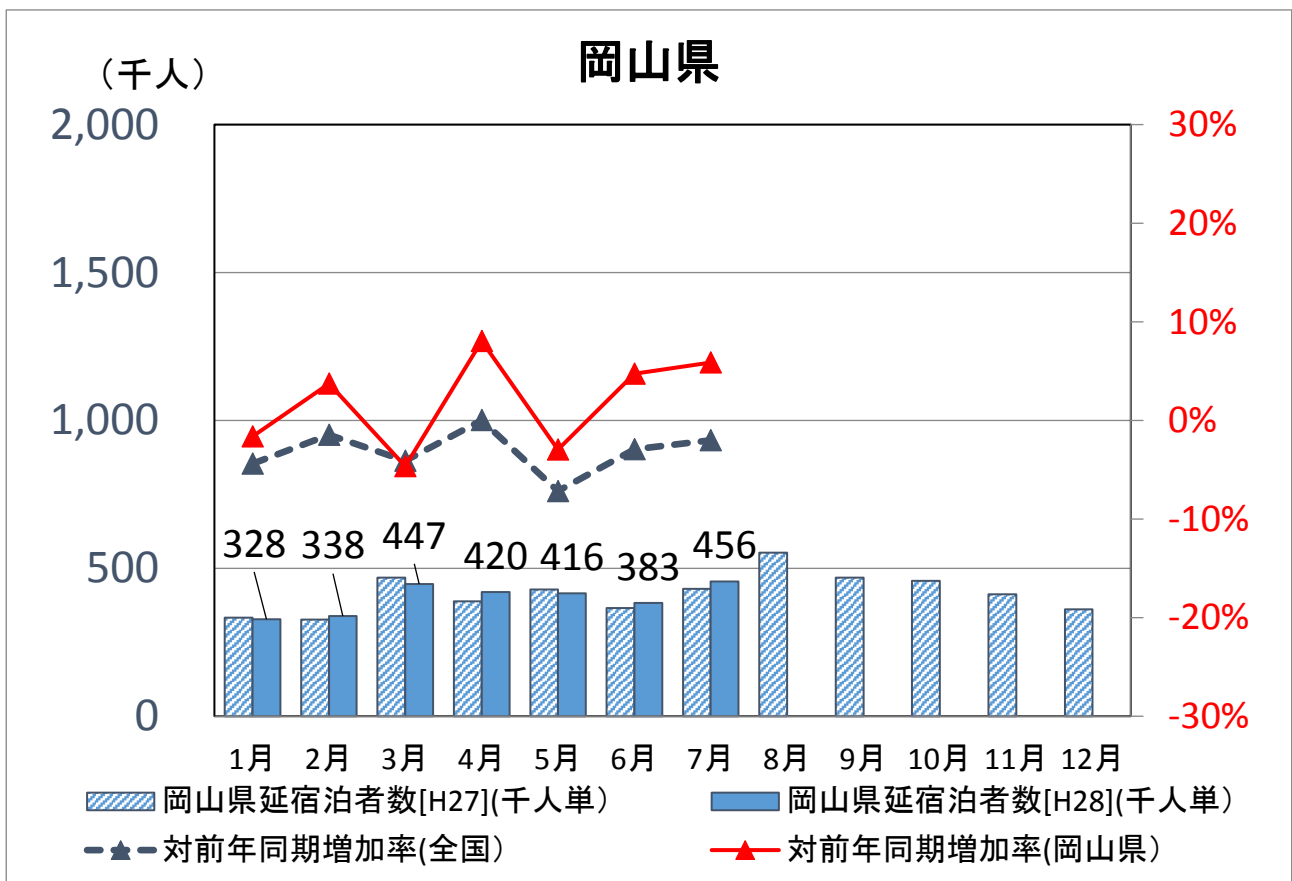
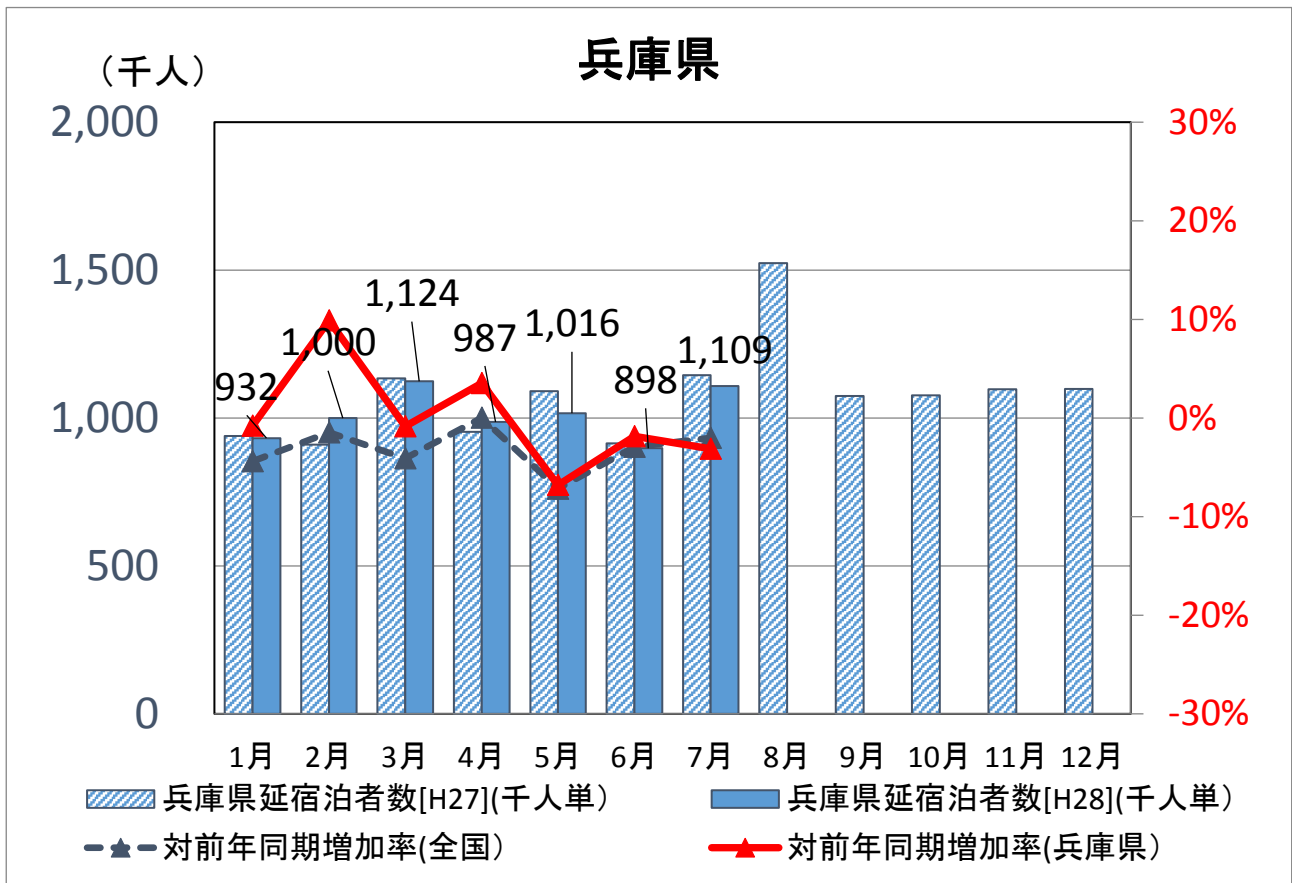
■ [平成 27 年度の確報値を反映](#)

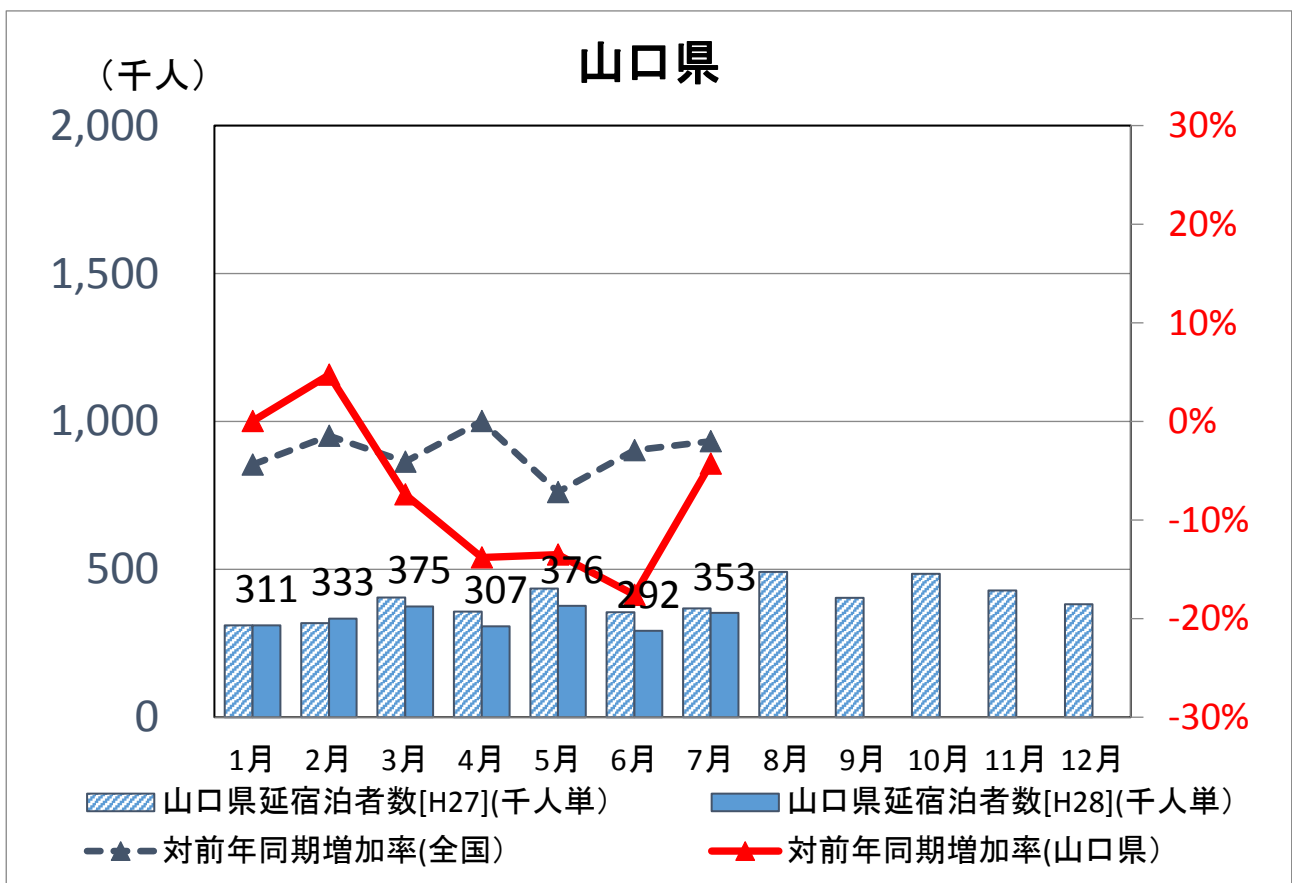
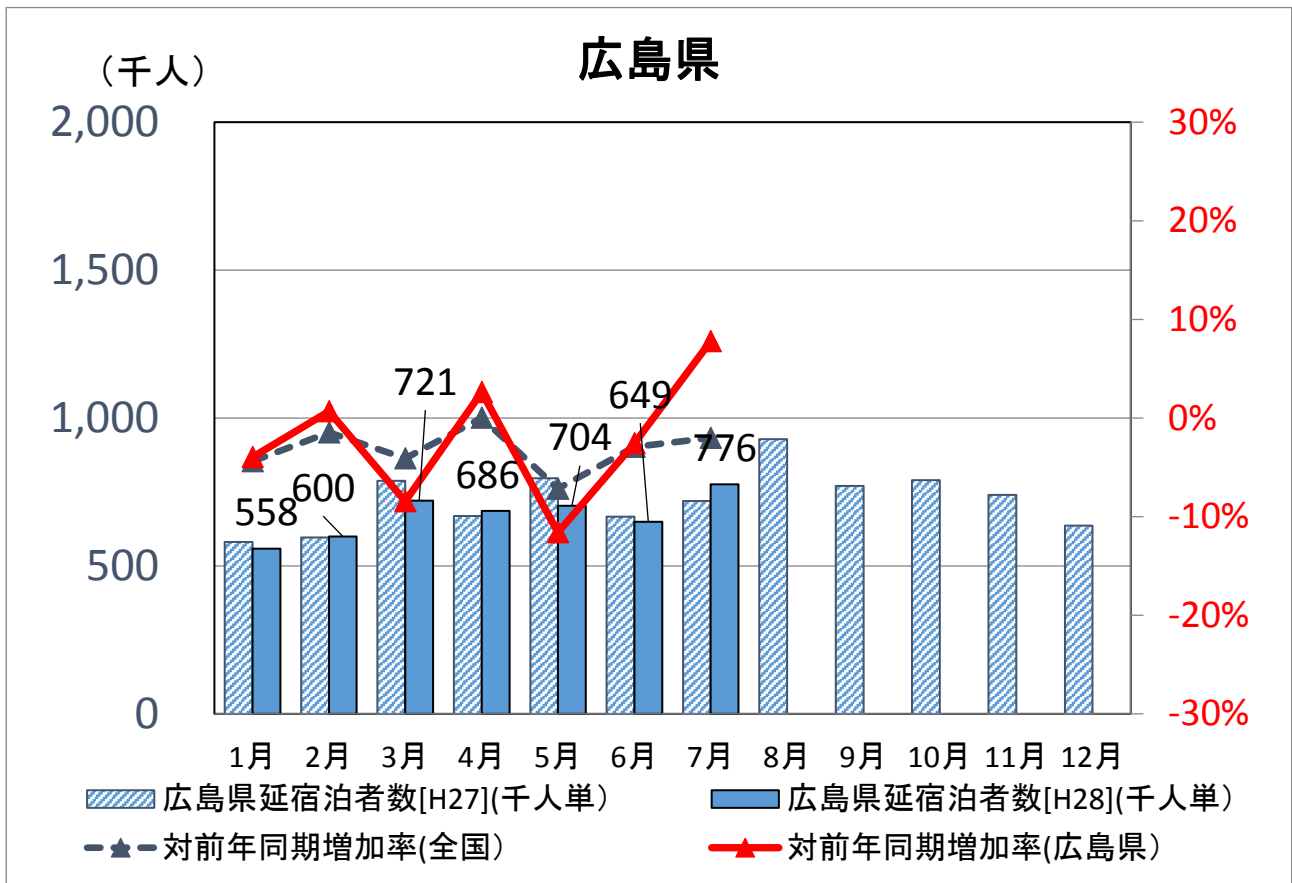
1 瀬戸内エリアの国内延宿泊者数の状況（平成28年1月～7月）

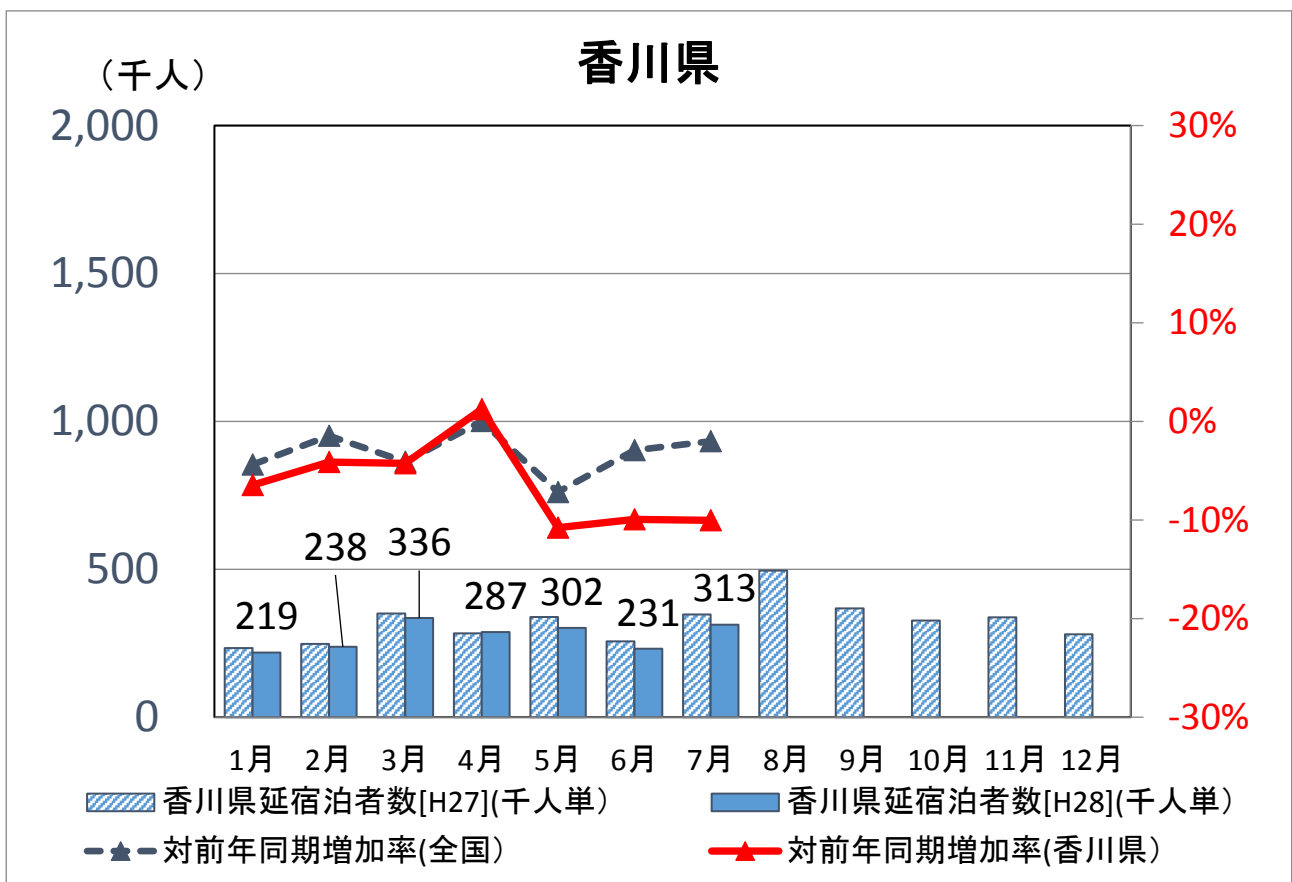
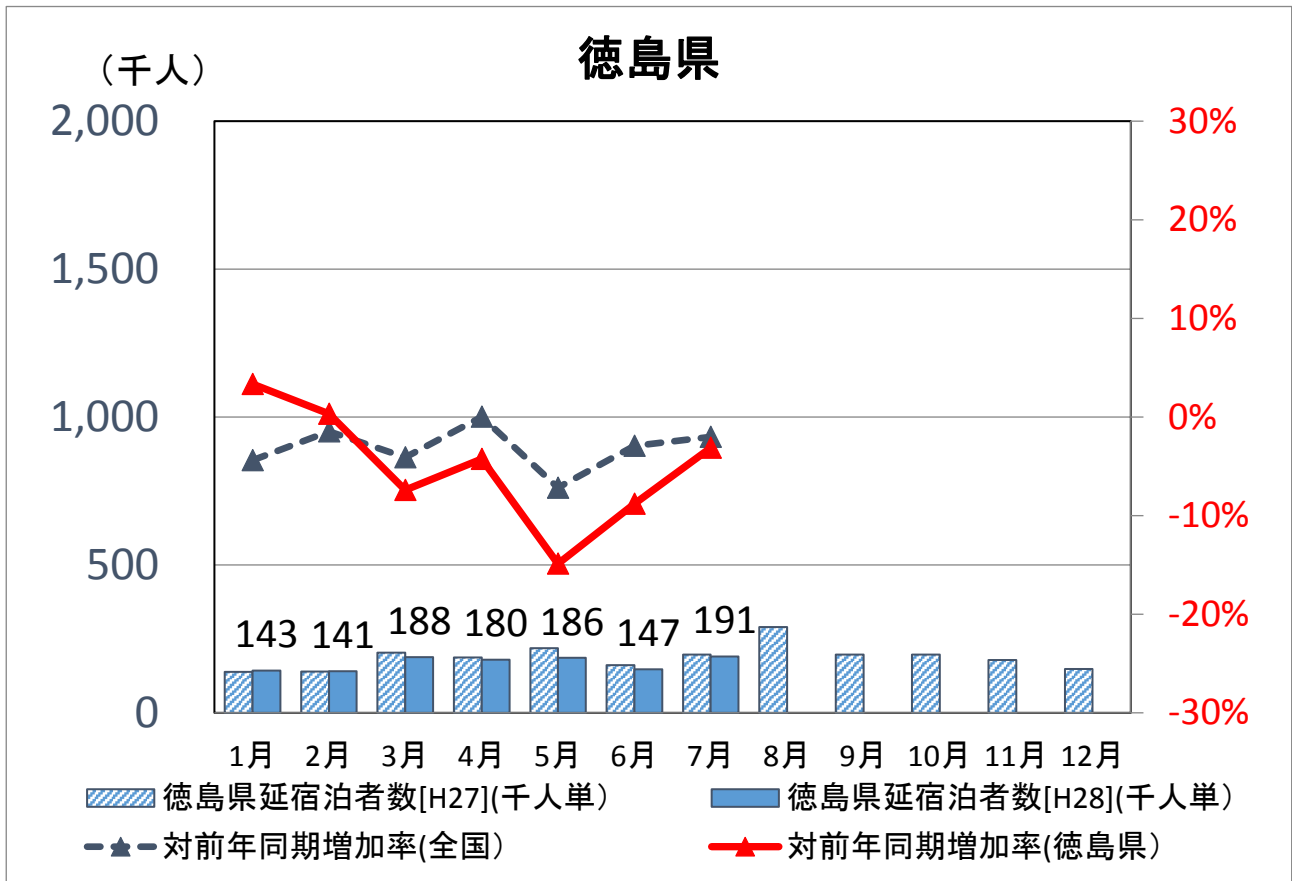
(1) 全国状況と瀬戸内エリア状況

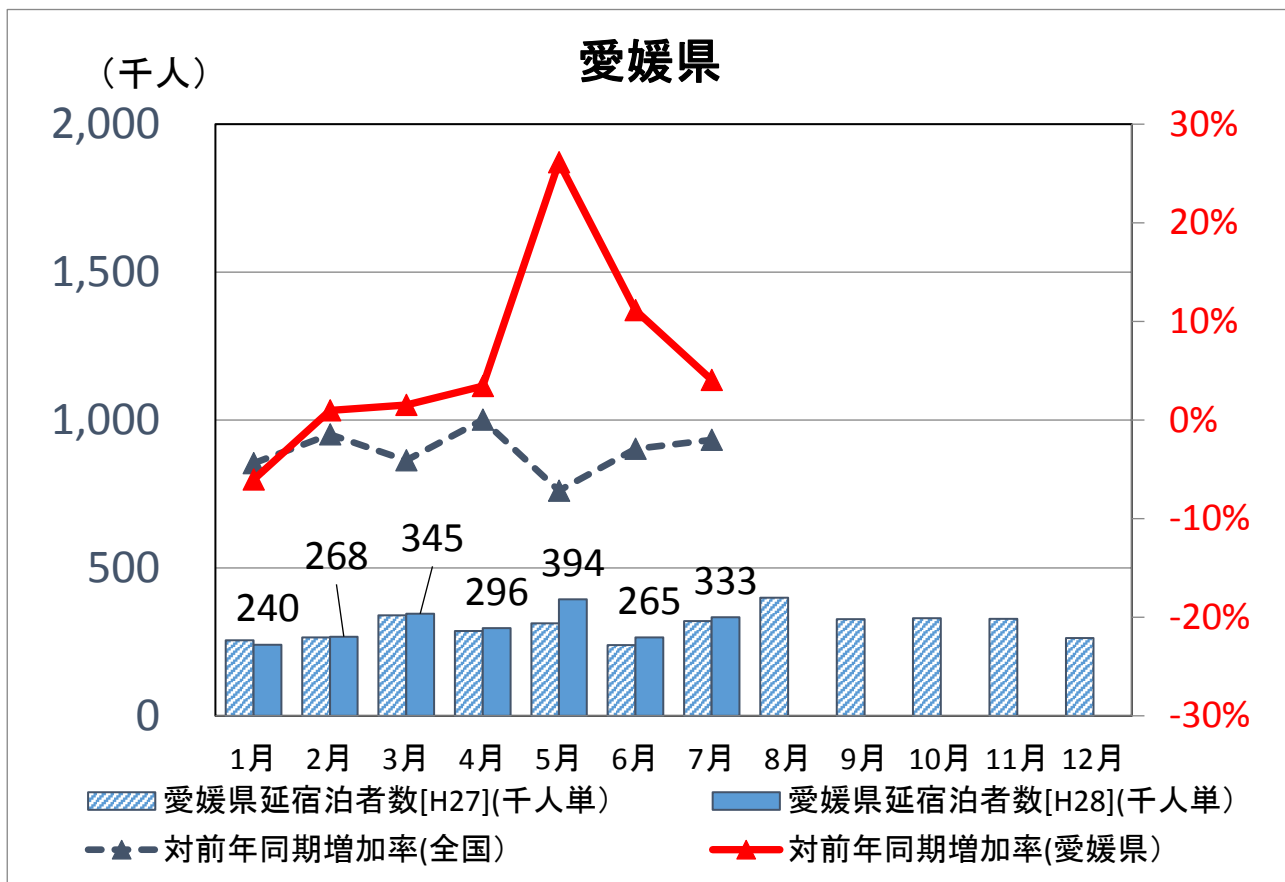


(2) 各県別推移



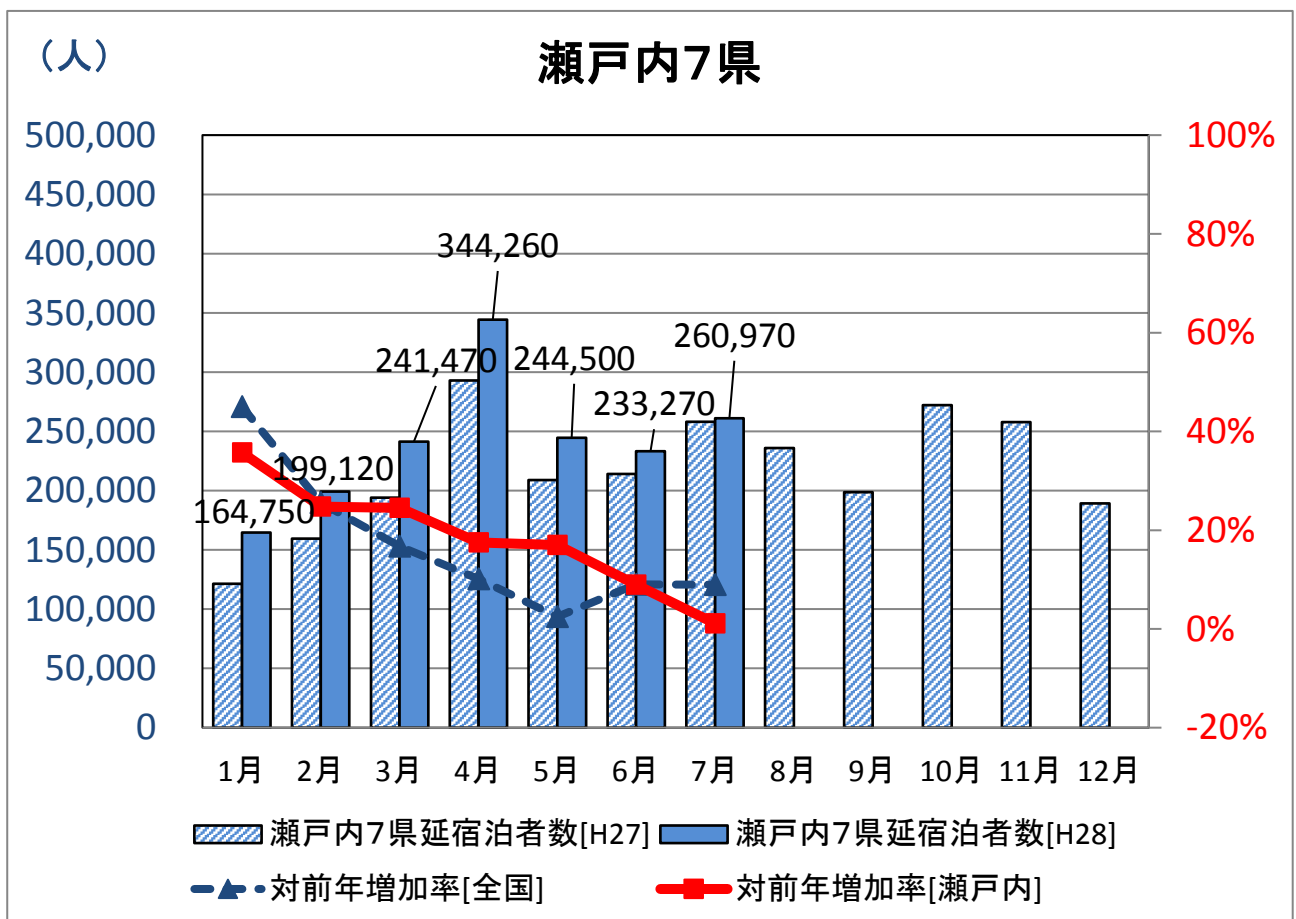
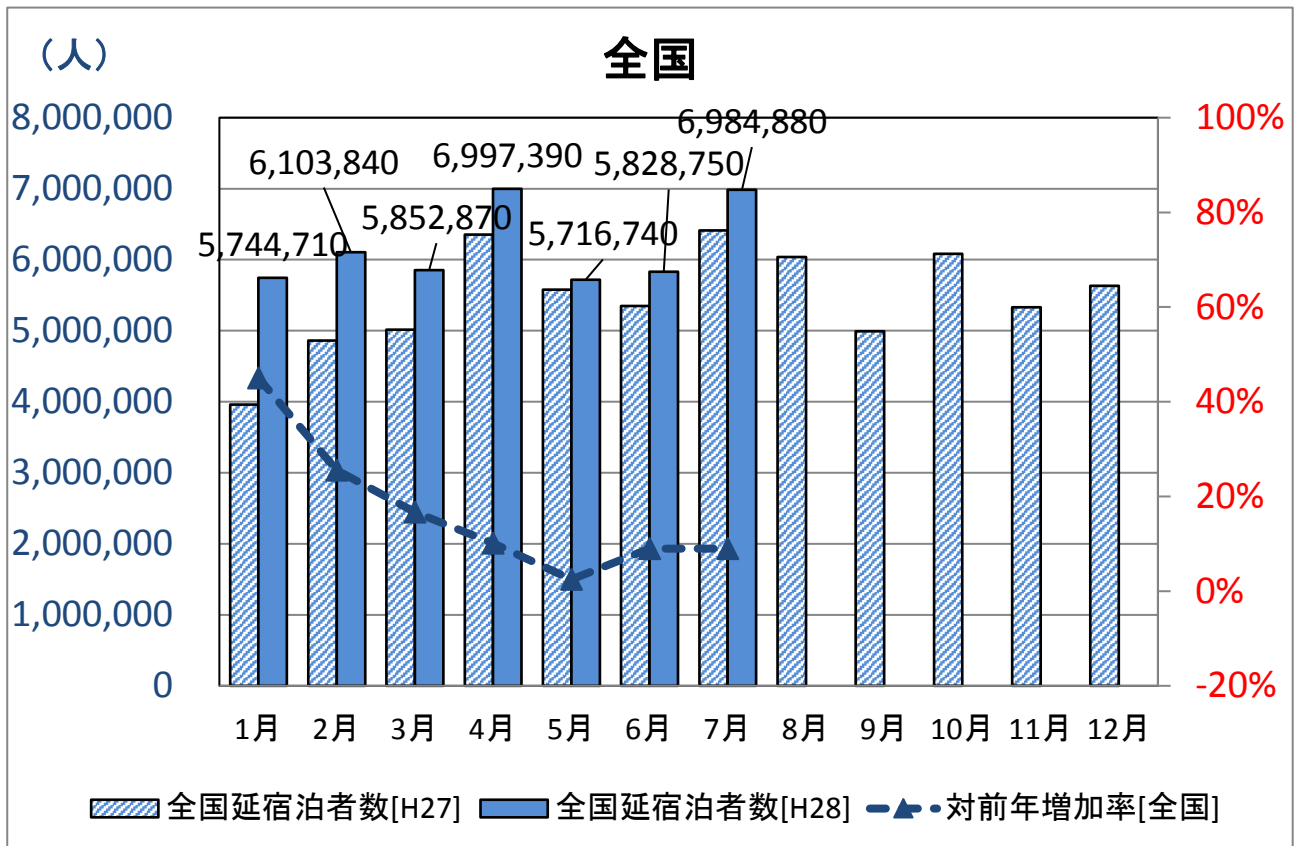






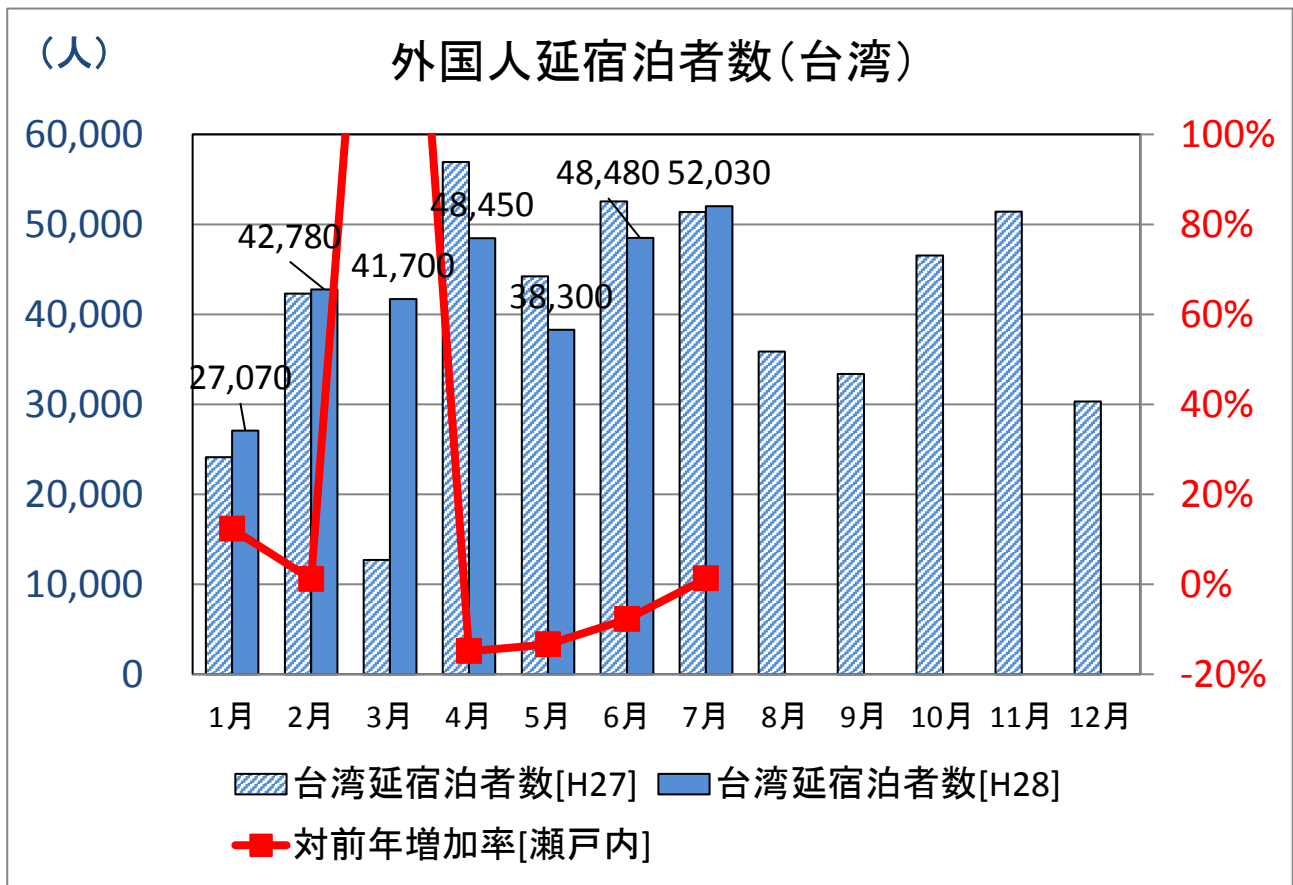
2 瀬戸内エリアの外国人延宿泊者数の状況（平成28年1月～7月）

(1) 全国状況と瀬戸内エリア状況

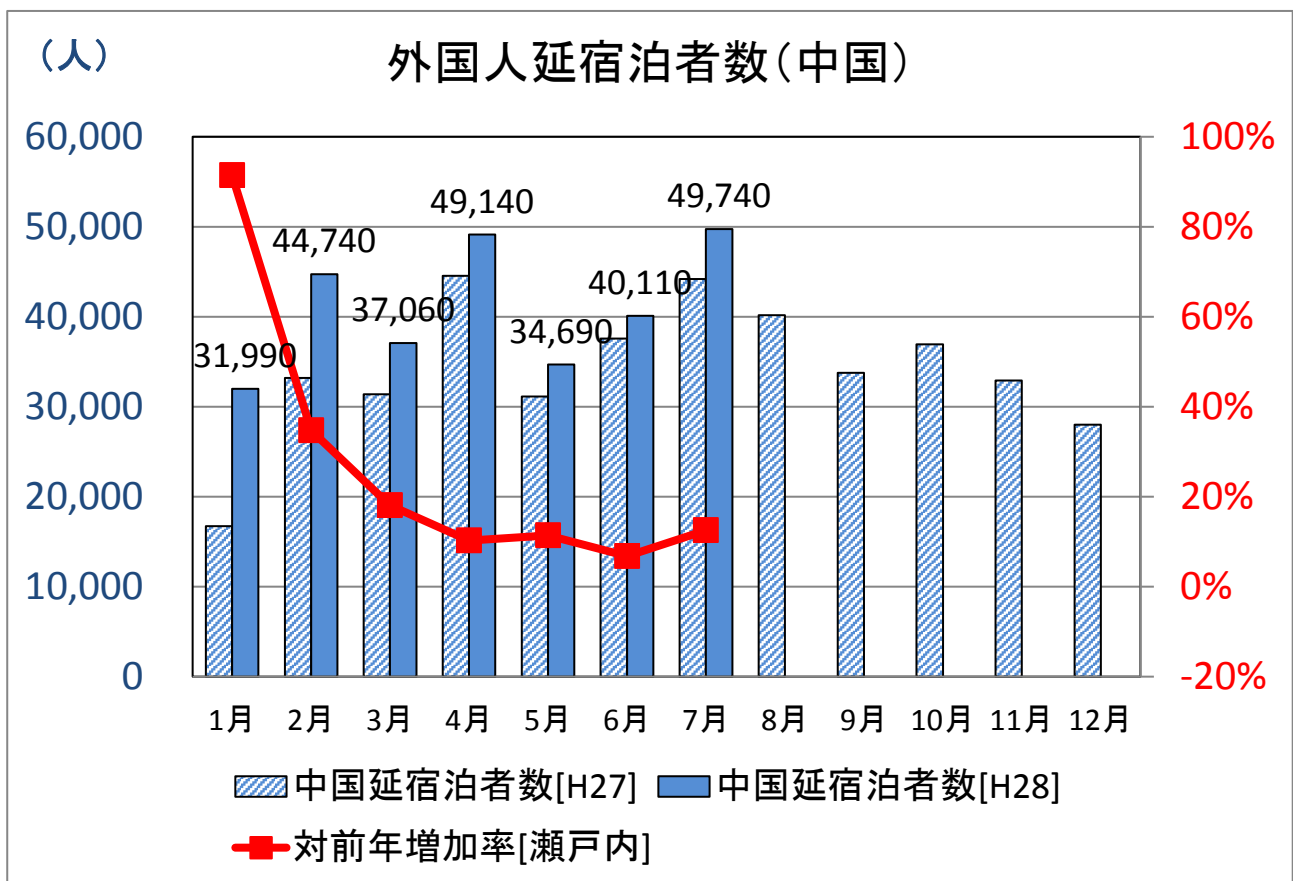


(2) 瀬戸内エリア国別概況 (従業員 10 人以上の施設のみ)

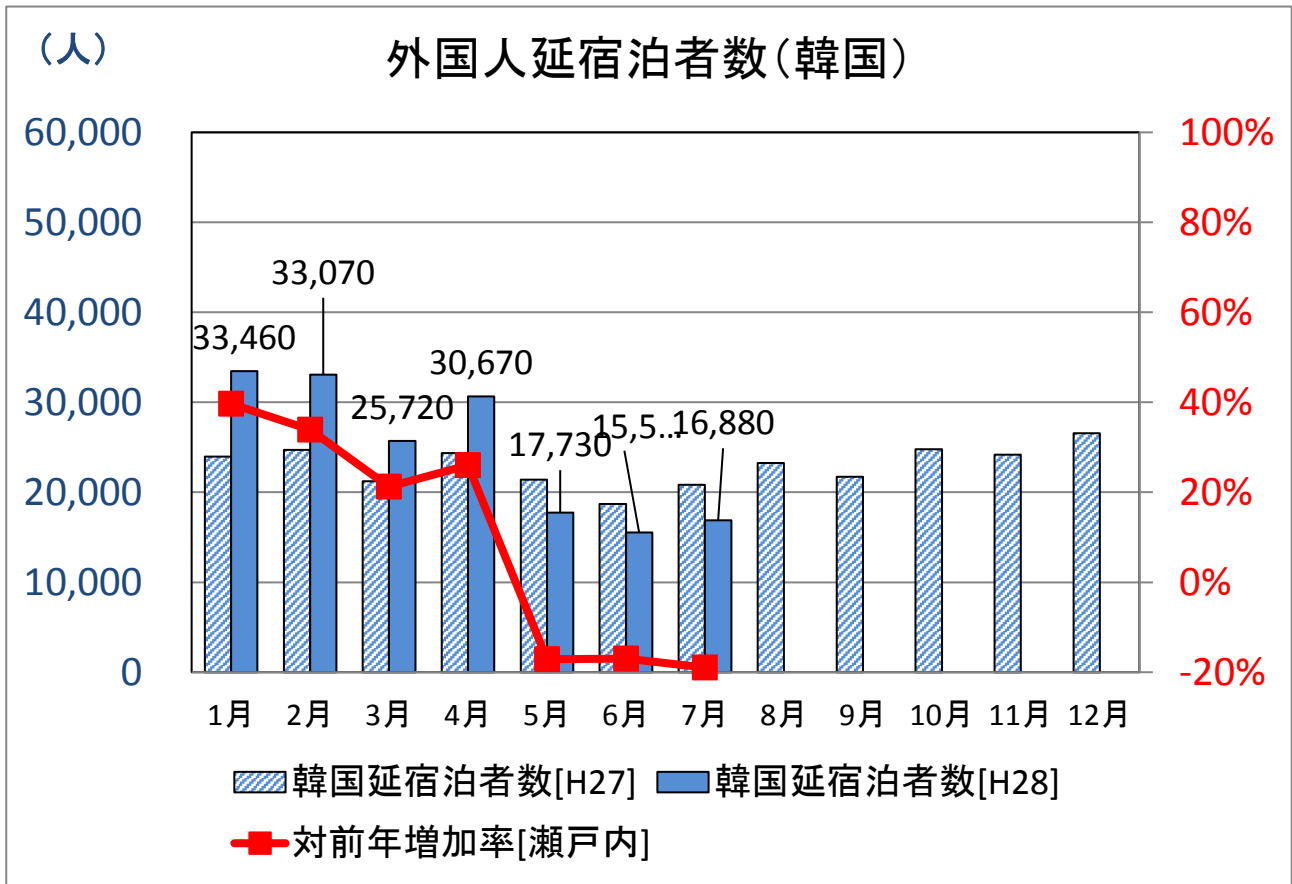
① 台湾



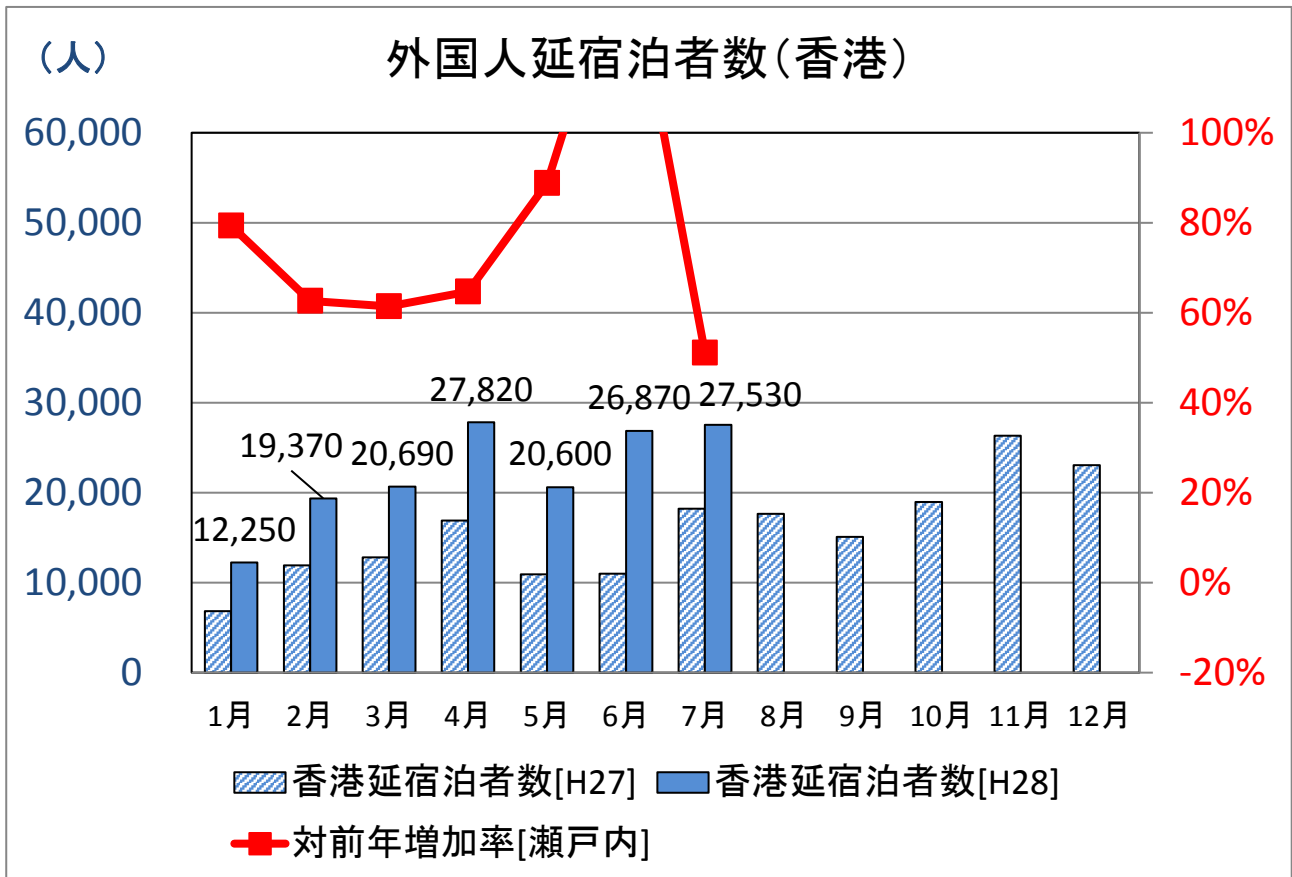
② 中国



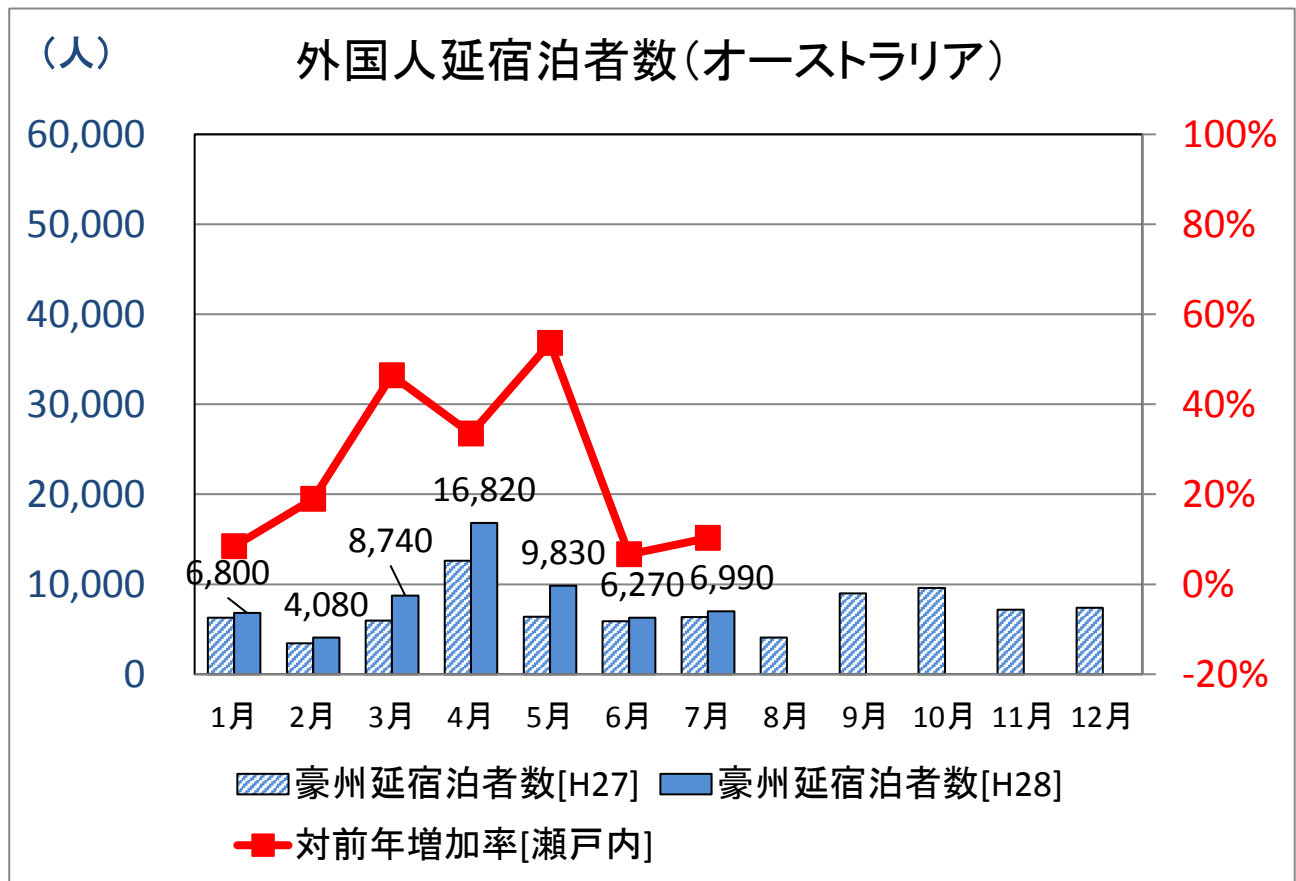
③ 韓国



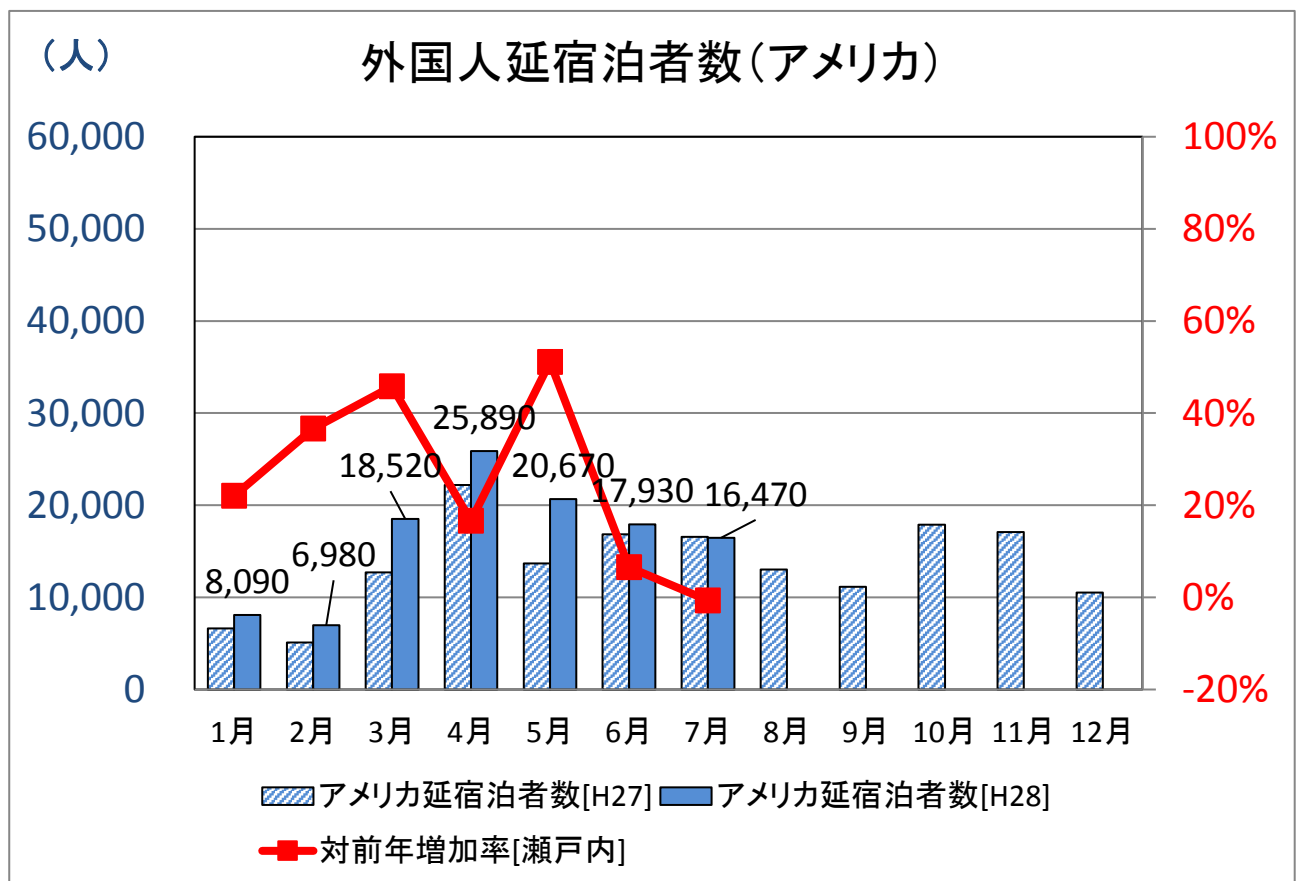
④ 香港



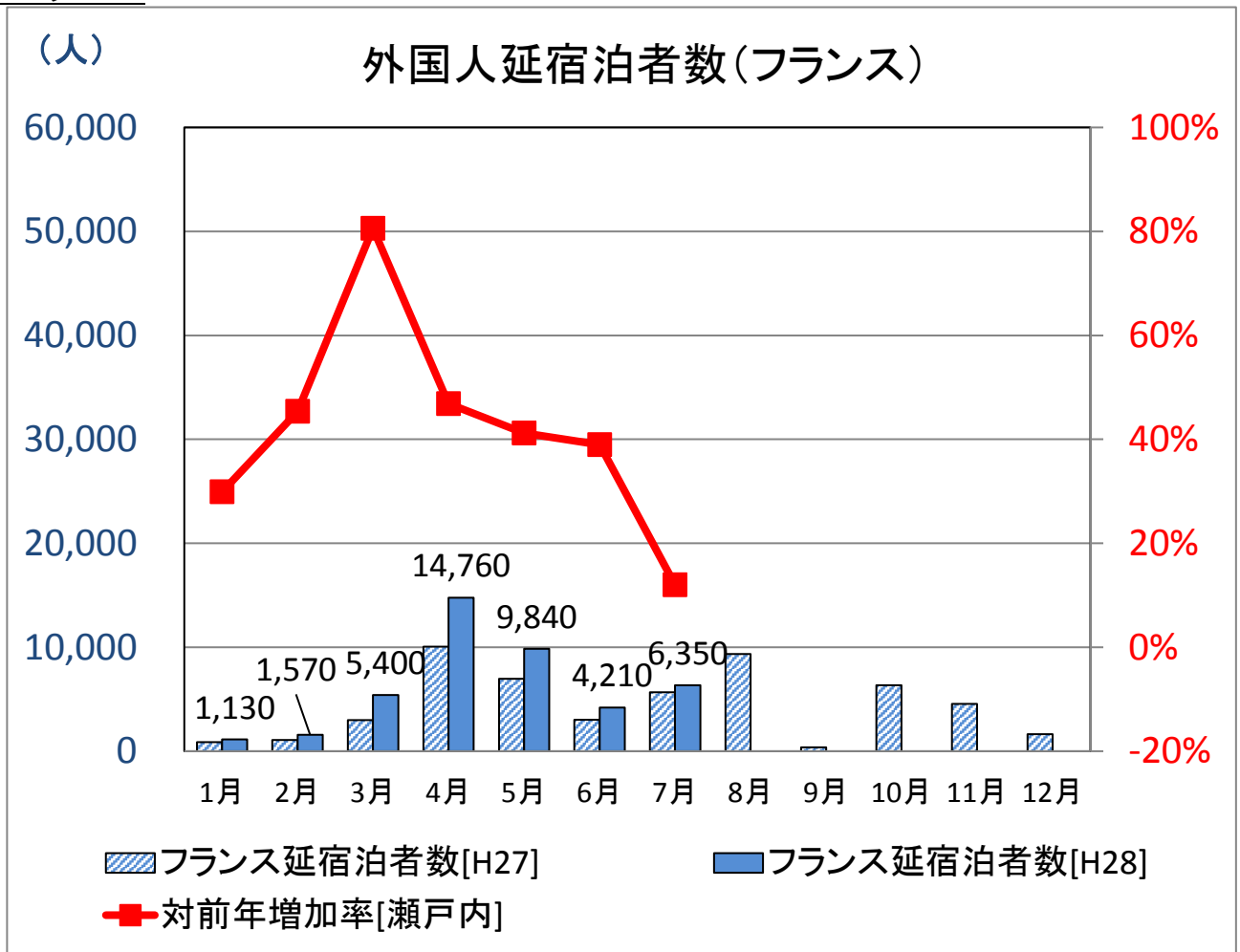
⑤ オーストラリア



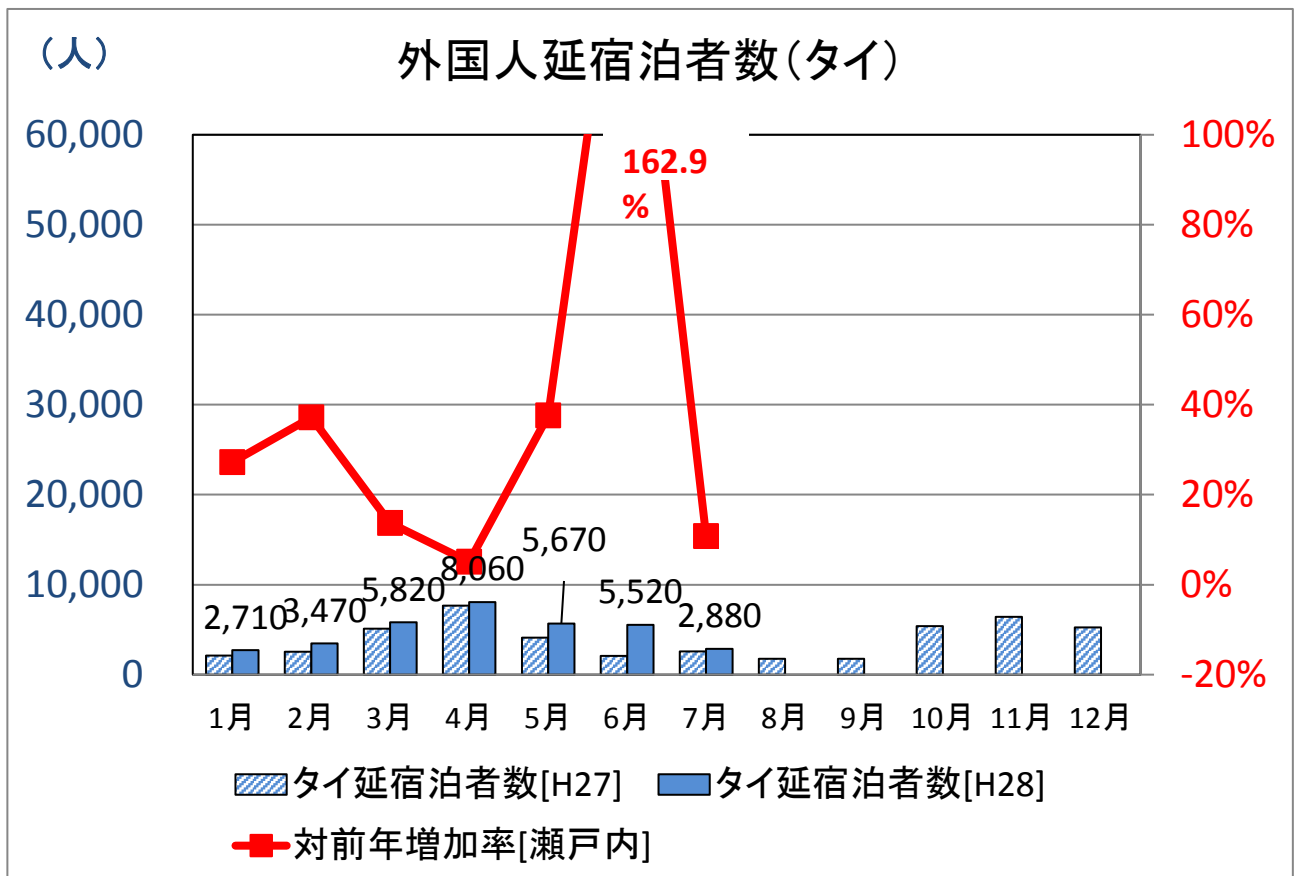
⑥ アメリカ



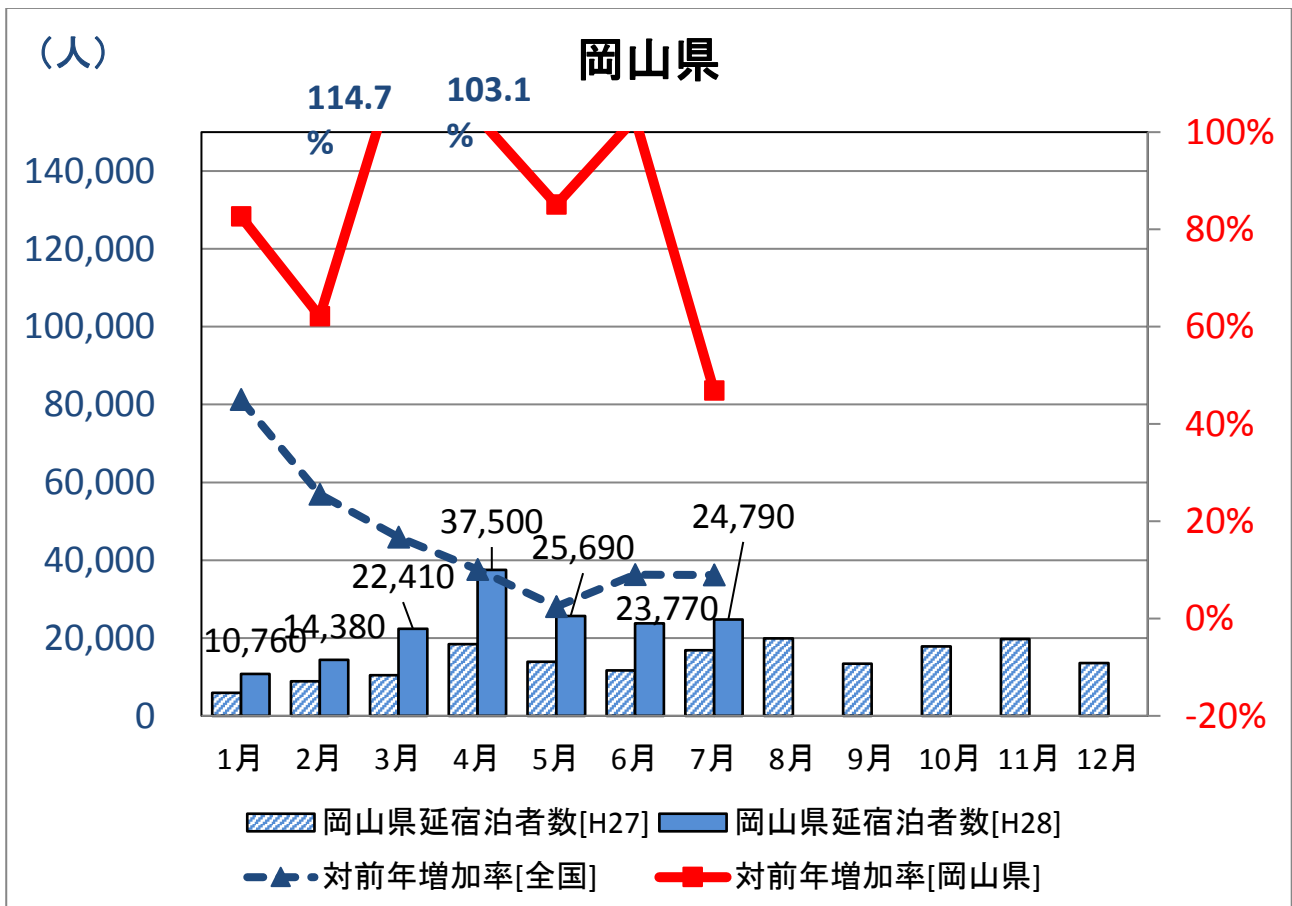
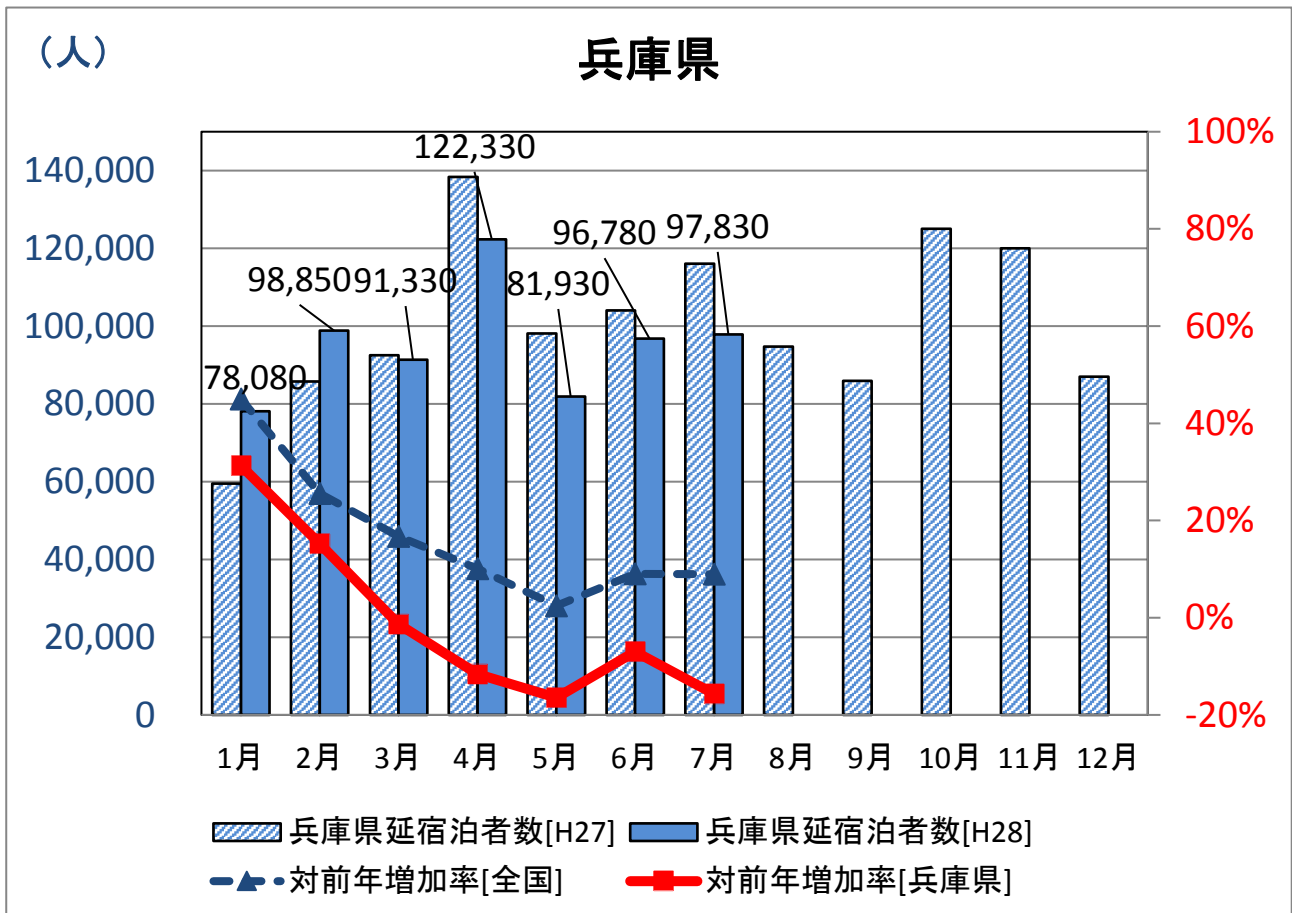
⑦ フランス



⑧ タイ



(3) 各県別推移



延泊者数について

